



「ものづくりデジタルオフィサー」に就任した小宅さんの企業訪問。製造ラインや事務処理の合理化を模索します。(4月13日、㈲大塚木型製作所(北陽))

ものづくり現場のデジタル改革へ

圏産業支援課 ☎39・2228

デジタル化で創造的な仕事に専念
長岡産業活性化協会NAZE
ものづくりデジタルオフィサー
／前群馬産業技術センター所長
小宅 勝さん

優秀な人材が定型作業に迫られている現場をたくさん見てきました。会社の成長には、付加価値が高く創造的な仕事に、人が専念することが不可欠です。そこで必要なのが定型作業をとことんデジタル化すること。コンピューターでもできるということに気づいていない場合もあります。まずはお話を聞かせていただき、課題の発見から解決までサポートします。

製造業で課題となっている技術者の人材不足や高齢化。これらに対応するため、市は長岡産業活性化協会NAZEと連携し、市内企業のデジタル化を進めています。行政、製造業などへ数多くの支援実績がある小宅勝さんと共に、市内企業への訪問を始めました。相談を依頼した㈲大塚木型製作所代表取締役・矢代慎也さん(右上写真中央)は「提案していただいたのは、今あるシステムを活かし、小さな改善を重ねる方法です。中小企業も挑戦しやすいと感じました」と期待を寄せました。

NAZE会員募集

製造業を中心に教育・金融機関などが連携し、技術力や生産性向上に取り組みます。現在91の会員がいます。

デジタル化を後押し！ 各種補助金も活用を

▶詳しくはこちら



長岡の優れたものづくりを表彰



長岡産業活性化協会NAZEがブランド力向上と産業振興を目的に市内製造業の優れた技術や製品を認定する「豪技」。今年は繊細な加工技術に高い評価を得た㈱科学計器研究所の円筒内面・端面研削盤が認定されました。(3月14日)

「外山脩造賞」に日本精機(株)



アサヒビール(株)新潟支社が創立者・外山脩造の出身地である長岡の産業発展に貢献した企業などを表彰する「外山脩造賞」に、日本精機(株)が選ばれました。デジタル化の推進や新型コロナウイルス禍のニーズに応えた商品開発などの取り組みが評価されました。(3月25日)

人が集い、交流し、新たな挑戦を生むまちへ

新しい働き方を実践



長岡で暮らしながら首都圏企業にリモートワークで勤める「ナガオカワーカー」

中山間地域の課題解決



デジタルアート(電子住民票)の販売による市民主導の山古志地域活性化

長岡版イノベーション

起業しやすい環境づくり



4大学1高専などの学生起業家が連携を深めた「起業家サミット」

官民協働によるデジタル化



多言語映像通訳を活用した外国人児童への学校生活支援

拠点の整備



ミライエ長岡を中心に人が集い、活発に交流できる環境を整備

異なる要素を掛け合わせ、新たな発想や技術を生み出し、産業振興や地域の課題解決、人材育成に挑む「長岡版イノベーション」。平成29年4月から幅広い分野で進めてきた取り組みが注目を集めています。

日本初のイノベ地区へ 国・東大と研究協定

内閣府地方創生推進事務局と東京大学連携研究機構不動産イノベーション研究センターと市の3者は3月30日、イノベーションが生まれるまち(イノベーション地区)の条件を評価・検証する協定を締結しました(写真1)。「米百俵ブレイスミライエ長岡」を拠点とした中心市街地からイノベーションが波及するまちづくりを目指し、実証研究を展開します。

磯田市長は「実証の場として、両者からアドバイスをも



首相出席の会議で 先進事例を紹介

また4月4日には、政府主

「新しい地域活性化モデルの構築 に向けた研究連携協定」締結～地方都市における「国の力」を活用しイノベーション創出

「いながら、イノベーションの動きを加速させたい」と意欲を語りました。

野田聖子内閣府特命担当大臣は「地方都市でイノベーションを生み出す新しい地域活性化モデルとして、国の成長戦略の一つの柱になってほしい」と期待を込めました。



催の会議に磯田市長がオンラインで出席。デジタル化で地方の活性化を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現につながる事例として、これまでの取り組みを紹介しました(写真2)。

長岡市を含む4市の発表に、岸田文雄総理大臣は「いずれも興味深く、他の地域のお手本になるものでした。地域の取り組みを強力に支援していきます」と高く評価しました。

長岡版イノベーションで成果 先進的取り組みに国も注目

圏中心市街地整備室 ☎39・2807、デジタル行政推進課 ☎39・2205